

2025年3月21日

各 位

会 社 名 竹 本 容 器 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 竹 本 笑 子  
(コード番号：4248 東証スタンダード市場)  
問 い 合 わ せ 先 執 行 役 員 経 営 企 画 室 長 戸 田 琢 哉  
(TEL. 03-3845-6107)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応（アップデート）について

当社は、2023年8月17日に公表いたしました決算説明会資料において記載しておりました「資本コストや株価を意識した経営」の内容につきまして、現状を分析・評価し、改善に向けた取り組み方針についてアップデートいたしましたので、お知らせいたします。

なお、詳細につきましては、添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現へ向けた対応（アップデート）」をご覧ください。

以 上

「資本コストや株価を意識した  
経営の実現へ向けた対応（アップデート）」

# 資本コストや株価を意識した経営の実現へ向けた対応

国内及び海外事業の現状分析結果に基づき、収益性の改善の取組みを継続すると共に、株主・投資家との対話についても、順次進めて参ります

## I. 現状分析・評価

- 資本コスト算定の根拠
- 資本コスト及びROICの推移と要因分析
- 地域別ポートフォリオカテゴリー
- ROICツリー

## II. 取組みの検討・開示

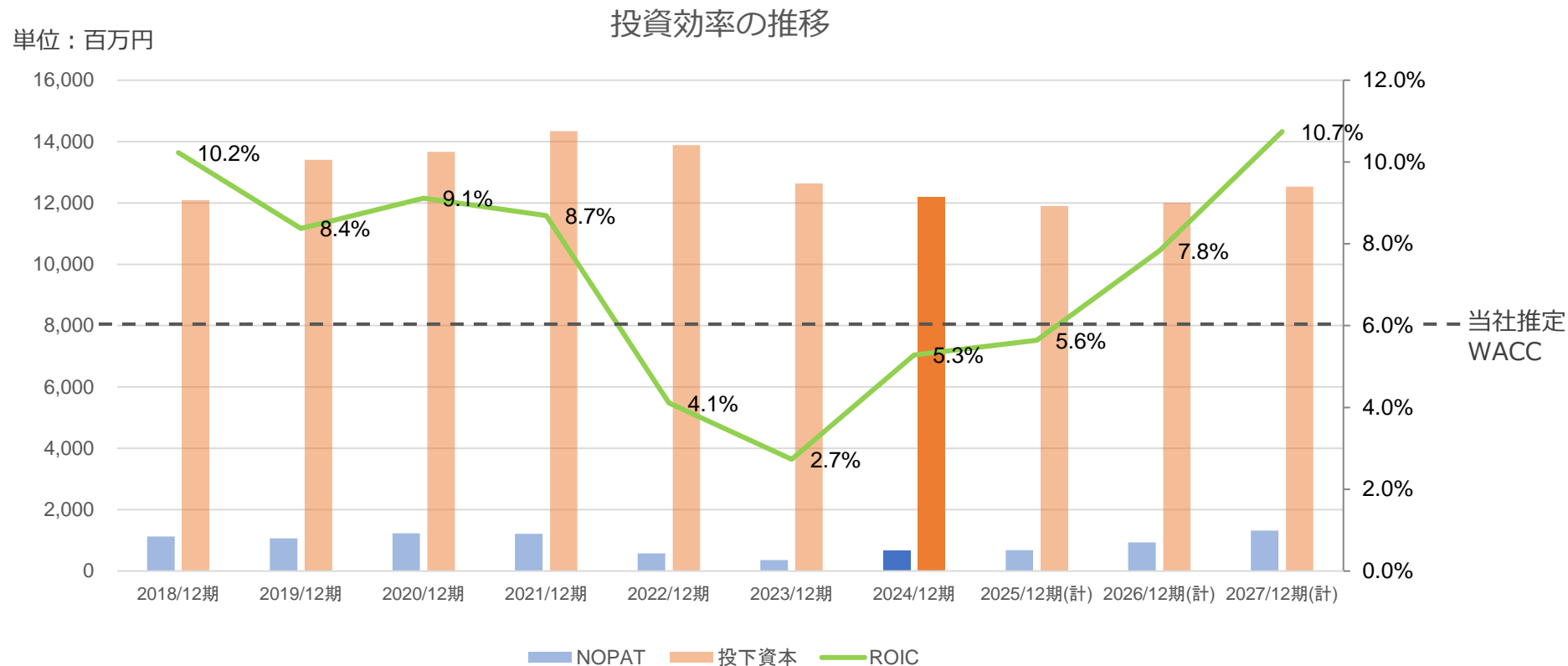
- 日本: サステナビリティへの対応、生産性向上
- 中国: 顧客開拓と生産の自動化推進
- インド: 生産能力向上と販路拡大
- 共通: 人材採用・育成に注力

## III. 株主・投資家と対話

- 株主還元の状況
- キャピタルアロケーション
- 投資家ミーティングの頻度向上
- 投資家の意見収集と対応

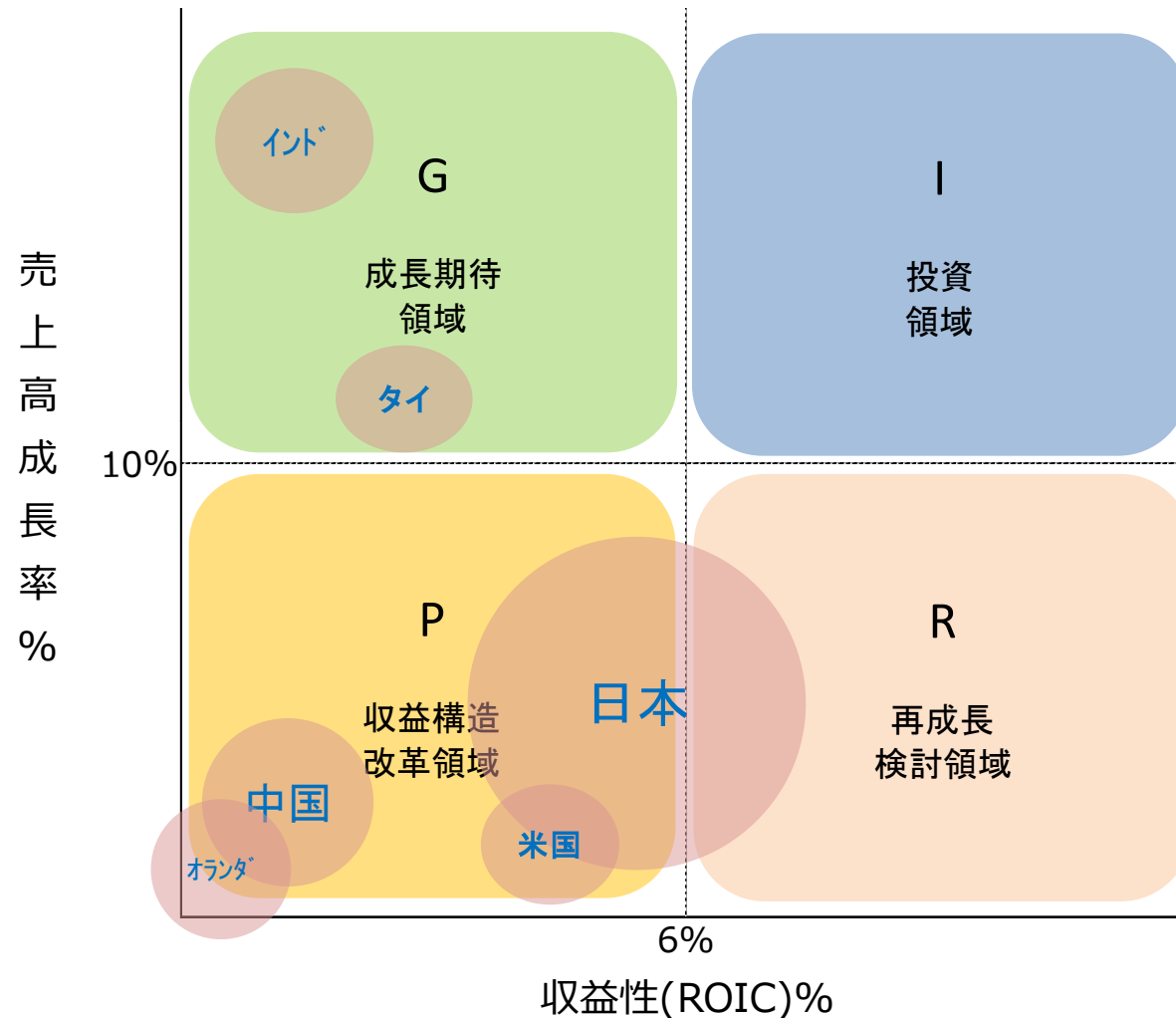
## 資本コストや株価を意識した経営の実現へ向けた対応

- 当社では、毎年CAPMを用いて資本コストを算出しています。また、事業運営や投資採算については、このハードルレートを意識した経営判断を行っています
- 従来の算出結果によれば、株主資本コストが8%前後、WACCが6%前後の水準であるものと認識しています
- ROICをヒストリカルにみると、2021年以前はハードルレートを上回って推移していました。2022~23年に下降した後、収益改善の取り組みを継続的に実施していることにより、2024年から収益性が改善しWACCに近い水準まで回復している状況です



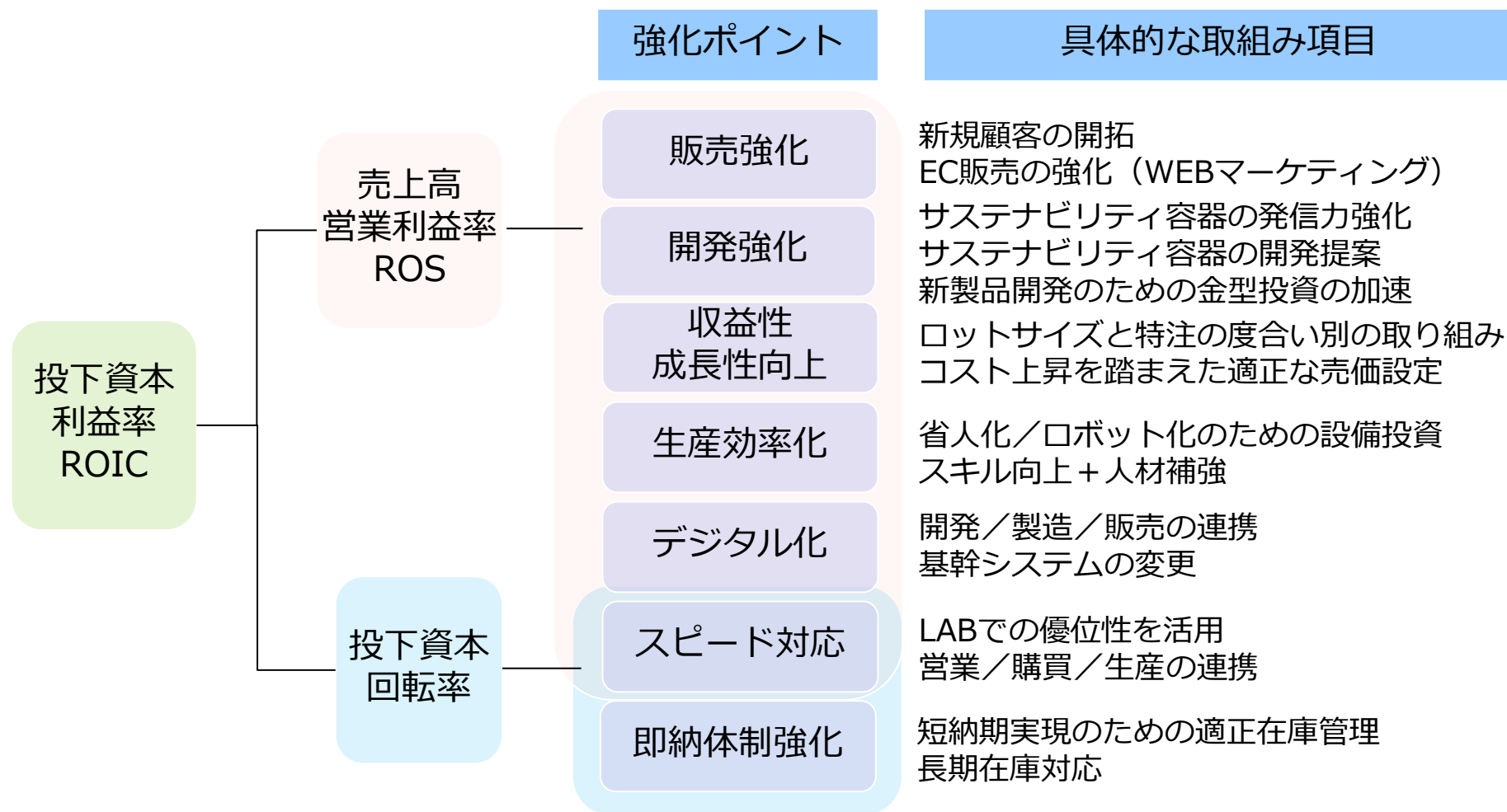
# 資本コストや株価を意識した経営の実現へ向けた対応

- 当社では、売上高成長率と収益性（ROIC）を指標として地域別事業を4つのカテゴリーに分類し、各地域の取り組むべき領域を明確にしています



# 資本コストや株価を意識した経営の実現へ向けた対応

- 当社では、ROICを利益率と回転率に細分化し、強化ポイントとリンクした取組みを実施しています



すべては “ Standout ” な  
パッケージングソリューション  
創造のために